

月報 白樺

ALPINE CLUB / WHITEBIRCH NAGANO

9月の活動予定

- 9/3(火) 第一例会
- 9/2~4(月~水) 富士山(メラピーク高所順応)
CL…
- 9/14~15(土・日) 谷川岳~白毛門 縦走
CL…
- 9/17(火) 第二例会
- 9/28~29(土・日)
長山協キャンプ 小川山
CL…

10月の活動予定

- 10/1(火) 第一例会
- 10/6(日) 鏡台山、五里ヶ峯
CL…
- 10/13(日) 御飯岳、破風岳(志賀高原)
CL…
- 10/15(火) 第二例会
- 10/24(木)~11/13(水) 海外遠征
ネパール / メラピーク(6, 476m)

11月の活動予定

- 11/2(土) 子檀嶺岳(青木村)
CL…
- 11/5(火) 第一例会
- 11/16~17(土・日) 裏妙義山・丁須岩
CL…
- 11/19(火) 第二例会

7月の活動報告

7/7(日) 東北信夏山登山教室

参加者：4名

虫倉山にて行われました。
梅雨の真只中、心配された雨も一時降りましたが参加者の熱意で小降りとなり午前中の実技山行は無事終了。
午後は会場を「やきもち家」に移し長野県警航空隊の 班長、長野県山岳アドバイザー 氏(中条山岳会会長)を講師に「山岳遭難の現状と傾向」「夏山の楽しみ方」の講演を聴き、充実した教室になりました。
(抜粋資料長野県山岳協会より)



7/7(日) 常念岳・蝶ヶ岳

参加者：5名

三俣・林道ゲートの駐車場4時25分出発。
出発時点では曇り空、予報も曇りでした。急登を颯爽と歩いていましたが、前常念辺りからポツリポツリ。霧雨の中の山行となりました。途中カッパを着用し更に常念岳を目指します。足元が悪い中でしたが、計画より早い到着。小雨の中、休憩もそこそこに蝶ヶ岳を目指しました。アップダウンの激しい縦走でしたが、景色が見えなかった分、沢山の植物に癒されながら歩く事ができました。
しばらくすると…随分大きく不恰好な雷鳥が一羽。ソロリソロリと近づいていくと〜。丸々した羽根の中から小さな子供たち



が出てくる出てくる。まるでマジックを見ているかの様に次から次へと7羽も出てきました。雷鳥の親子にほっこりする時間を頂きながら蝶ヶ岳ヒュッテに到着。濡れて冷えた身体を温めながら、温かい食事をとり下山。駐車場には予定よりも早く17時45分着。明るいうちの到着となりました。経験の浅いとですが、温かく迎えて頂いた上、色々教えて頂きながらの山行。しかし、話題が絶える事なく、終始笑いながらの23キロ13時間の貴重な経験をさせて頂きました。ホントに楽しい時間ありがとうございました。これからもよろしくお願いたします。



7/7 (日) 長野 2:00=姨捨 SA=安曇野 IC=駐車場 P4:25-三股-前常念 8:20=常念岳 9:40/10:15=蝶ヶ 12:52=蝶ヶ岳ヒュッテ 13:45/14:40=蝶ヶ岳 14:55=三股-駐車場 P17:45=長野

7/28 (日)
稲子岳南壁左カンテルート
参加者：2名

台風通過中の午前2時半に長野を出発し、雨が上がることを期待しながら山に向かう。佐久に入る前あたりから雨も上がり、登山口についた時には晴れ間も見え、期待が高まる。登山道をきれいな苔に癒されながら進み、しらびそ小屋も過ぎて少し行くと、右手に巨大な岩壁が！まさかこの壁ではないと思い、念のためさんに確認すると「これが稲子岳」と。本当に登れるのか。



取付きまでは赤布が巻いてあり、迷う事なく到達。風が出ていたため上着を羽織って、さんがトップで登攀を開始。2ピッチ目でトップを交代し、ビビリながらもなんとか支点まで到達。安定したさんの登りを見ているとあっという間に4ピッチ目の私の番が。高度感にも慣れ始め何とか上に進むが、終了点が見つからない。さんにどうしようか聞いてみるも声はほとんど届かず、ピナクルにスリングと、割れ目に渾身のハーケンで支点を作りさんをビレイ。しかし、ビレイ中に支点到体重を預けると突然岩が割れ、ハーケンが抜けた。一瞬何が起きたかわからず動揺するもピナクルは安定しており、無事さんも上がってき



て、さらに安定した支点を教えてもらい再構築した。支点構築について技術を身につける必要があると感じた。その後は「ハーケン発見ってシャレか？」と雰囲気をもませるさんのファインプレーもあり、安定した登りで予定より1時間以上早く登攀終了。山頂付近のコマクサが素敵だった。

下りの途中、朝と同じ位置から稲子岳が見えた。あの壁を手と足だけで上れたのか、にわかに信じがたいが、岩壁が朝ほど遠くの存在には見えなかった。
P.S. 次に来たときは、しらびそ小屋でチーズケーキセットを食べたい。



7/28 長野 2:30=駐車場 5:06=登攀終了 10:30=駐車場 13:15

7/29 (月) ~31 (火) 裏剣

参加者：4名

7/29 (月) 裏剣1日目

室堂～真砂沢ロッジ

今年の梅雨明けは遅くなる見込みとの気象庁の予報ではあったが、下旬の26日頃には梅雨明け10日の好天になる事を確信していた。……それなのに……太平洋にあった熱帯低気圧が台風に成長し、北の高気圧に押され、ちょうど山行日に上陸と言う！ なんとしても裏剣を歩きたいとの思いから、出発日を二転三転と変更し、29日とした。

駐車場の混雑を避ける為早めに長野を出発した。扇沢では、チケット発売まで車中で休憩。事前の情報によると最終日に歩く予定の内蔵助平へは下れないとの事なので室堂までの往復チケットを購入した。

室堂は霧で真っ白、雨衣を着ての出発となった。進むにつれ天気は回復し足取りも軽やかに。見え隠れする立山連峰に心がときめく。雷鳥平で一休みして別山乗越に向かう。コバイケイ草、チングルマに元気もらい御前小屋に到着。剣岳の雄姿は望めなかったが登山者で賑わっていた。

剣沢の山岳警備隊に立ち寄り情報収集をしたが、雪渓下部にある滝に落ちない事と内蔵助平へは下れない事等で新しい情報は無かった。急坂を下り武蔵谷当たりでアイゼンを着けて剣沢の雪渓に入った。平蔵谷、長次郎谷と過ぎるにつけ雲行きが怪しくなり、ついに降り出した。雪渓下部の危険な滝は、雪渓の中に突然現れ雪渓に吸い込まれる様に轟いていた。雪渓も

不安定になり夏道を探しながら落石を受けぬ様慎重に進む。真砂沢ロッジの石室が目に入った時は心底ホッとした。

雪崩の通り道にあるロッジは毎年どこかしら流され、今夏は風呂を新設中だった。小さな小屋で宿泊客は8人、富山米の美味しいご飯と麓で獲った熊肉のサービス。何よりも丁寧な対応をして下さったオーナーの人柄が心に残った。

小屋開けに入る時は剣沢を30分でロッジまで下る事、水を取る為のホースは毎年付け替える事、朝4人をいつまでも見送ってくれた事、黒四ダムへの情報を忘れずに仙人



(コバイケイ草)



(別山)



(剣沢)

池ヒュッテへ連絡して下さった事、変わるがわる大工さんと間違えてしまった事、あたたかい気持ちになった真砂沢ロッジでの1泊だった。

7/29(月)長野 4:00—扇沢 7:30—室堂 9:12—雷鳥温泉 9:45—雷鳥平 10:00/10:20—別山乗越 11:45—野営管理所 12:45/13:00—長次郎出合—真砂沢ロッジ 15:05

7/30(火) 裏剣2日目

真砂沢ロッジ～池ノ平山～仙人池ヒュッテ

2日目。気持ちの良い朝を迎える。小屋自慢の富山のコシカリの御飯で朝食を美味しく頂き、外に出て、オーナーと話す。真砂沢ロッジからは、剣沢雪渓がまっすぐ上に臨める。目の前のテノ場は学生が剣で訓練を積む拠点になっているようだが、まるで、要塞の様な石垣に囲まれている小屋は、毎年雪崩の被害を受け、今年はお風呂の小屋が全壊し、今オーナーご自身が建築中で、あと2、3日で出来上がるとの事。水を引く太いホースも今年は全部雪崩で飛ばされて、小屋明け後ボッカし、古いのも利用して、小屋の生命線の水を確保しているそう。ご苦労は想像以上だ。3年前オーナーを受け継がれた年は

小屋がほぼ全壊した所から始まったそうで、オーナーの

さんは、穏やかにそれら話される。これから行く登山道の注意も丁寧に説明して下さい。また、31日の下山に、ハシゴ谷乗越から黒部ダムに行く計画だったが、剣沢で現在も通行止めと確認してきたことを話すと、昨日、そこを登って来た人がいるので、他の小屋にも聞いて、どこまで復旧作



業が進んでいるか安全を確認して、今日の宿泊先の仙人池ヒュッテに電話しておいてくれると言われた。親切なオーナーは、出発する私達を笑顔で見送ってくれて、見えなくなるまで、外に立っておられた。登山者を全力で守ろうとする心意気に感動し温かい笑顔に心もホックリ。出会いに感謝。

ハシゴ谷乗越への分岐に来ると、黒部ダム方向へは内蔵助平先通行止「雪渓崩壊の為」と貼紙があった。分岐の先、川に橋がかけられているのが確認できた。

注意された四ノ沢の雪渓を通過し、へつりに到着。丸木橋が傾いているが、鎖を頼れば大丈夫との事だったが、真下の剣沢の水量が多く、大きな音を立てて勢いよく流れていて迫力があるので、落ちないように、慎重に渡った。最後にロープが1本ぶら下がっていてそれを掴んで川を越えた。



7:35 二股吊橋着。注意書きに従って、一人ずつ渡る。沢の先には、三の窓雪溪が広がり、剣がようやく姿を見せた。渡り終え、ゆっくり剣を眺める。八峰が見える！雲がかかっている、全体が見えそうで見えない。

いよいよ仙人新道の急登が始まる。汗をかきながら登る事1時間。ベンチに8:30着。ここからの眺めは絶景だ。剣と三ノ窓雪溪、そして、目指す池ノ平山が、目の前にドカンと広がっている。憧れ続けた八ッ峰、そして北方稜線。夏合宿はあの稜線を歩く。夢のようだ！チンネ、三ノ窓、小窓と見えるはずだが、雲が動くたびに目を凝らすと、なかなか現れない。



仙人峠の分岐9:40着。右に行けば仙人池。まずは、池ノ平へ。小屋までは30分。赤い屋根の小屋に到着。綿入れ半てんを着たご主人が出迎えて下さり、池ノ平山へはザックを置いて行くように、水もどうぞと勧めてくれた。



2年前になるか？NHKのBSで裏剣が放送され、池ノ平小屋の湿原から朝日に輝く剣を見て、トレッキングの主演の女性が涙を流すシーンがあった。その時の剣の美しさに魅了され、裏剣に来たいとずっと思っていた。あの時の女性が立っていた場所が、今下に見える湿原だ。



小屋のご主人のお言葉に感謝しつつ、カッパと、水、すこしの食糧を持ち、池ノ平山へ出発！10:50。お花畑が広がっているテン場から歩き始める。樹林帯を過ぎると、雪溪が融けてお花が咲き始めた湿原が広がり、登るのも楽しい。コバイケイソウの群落、チングルマの群落が美しく、裏剣の迫力とともに、これ以上の絶景は無いと思えた。ヘリが三ノ窓雪溪をいったり来たりしながら長時



間飛んでいる。遭難者を捜しているのか？小屋のご主人から、山頂はニセが何個もあって本当の頂上はずっと奥だからと言われて来たので、トップに立っても期待せず、本当に言葉通り、なかなかたどり着かない。ようやく12:25池ノ平山南峰に到着。山頂には、トウヤクリンドウ、ハクサンシヤクナゲがきれいに咲いていた。



ここから北へは赤谷、猫又、毛勝山へと連なり、南へは、北方稜線だ。小窓、三ノ窓、剣岳へと続く憧れの聖域だ。10分程休み、下山。途中突然の雨に降られ、カッパを着る。

池ノ平小屋13:55着。小屋を覗くと救助隊の人が何人かいて、明日、徒歩で救助に向かうとの事。小屋は、救助隊の貴重な基地にもなっているようだ。ご主人にお礼を言い、14:20仙人池に向かう。雨も止み、仙人峠から仙人池ヒュッテへの木道に入る。15:20仙人池ヒュッテ着。

仙人池の前のベンチに座りビールで乾杯！仙人池には八ッ峰が逆さに映るそうだが、それは、明日の朝に期待。仙人池の檜の大きなお風呂に入り、若いラガーマンのオーナー自ら採って来た大きなキノコ、イグチのバター炒め等、美味しい夕食を頂いていると、オーナーから、真砂沢ロッジから、ハシゴ谷乗越から黒部ダムへ、安全に下山出来るので、4人に伝えてと電話があったと伝えられ、皆で歓声を上げた。

今日21,937歩。去年から、何度も予定を変更しようやく実現した裏剣。さんCL有難うございました。皆様充実した山行を有難うございました。



7/30(火) 真砂沢ロッジ 4:25 起床/6:10 発-四ノ沢 6:55-クサリ場 7:10-二股吊橋 7:30/7:45-ベンチ 8:30-仙人峠(分岐) 9:50-池ノ平小屋 10:30/10:50-池ノ平山南峰 12:25/12:35-池ノ平小屋 13:55/14:20-仙人峠 14:55/15:05-仙人池ヒュッテ 15:20(泊)

7/31(水) 裏剣3日目

仙人池ヒュッテ～黒部ダム

最終日の天気を心配していましたが、小屋の窓から剣岳の姿が見え始め期待大。皆、いそいそと仙人池へ。池に写る逆さ剣を見ようと、ガスが切れるのをだいぶ待ちました。快晴なら最も良かったのですが、写っただけでもラッキーです。

真砂沢ロッジのさんから、ダムへの道は通行可能と小屋に連絡を頂き、安心して内蔵助平に向かえます。通行止めなら、剣沢雪溪を上り返さなければなりません。峠に寄り道して、池ノ平山、八ッ峰を眺め、仙人新道を順調に下ります。二股吊橋で裏剣や三の窓雪溪の景色とお別れ。南股

を越えて、いよいよ対岸へ。ハシゴ谷乗越に繋がる急坂は樹林帯なので、日差しは少し遮られた。ハシゴ谷と言うだけあって、丸太のハシゴが何回も出てきます。途中、真砂沢ロッジで同泊だった方が、ビューポイントで剣岳が現れるのを待っていました。ここからは、池の平山、池の平小屋、仙人池ヒュッテまで見えて、ずいぶん昨日は頑張った歩いたなあと思いました。ハシ



ゴ谷乗越を過ぎてからは、嫌になるほど延々と河原を歩き続け内蔵助平へ。ちょうど草刈りをしてくれていたの、標も出ていて良かったです。内蔵助小屋への道は3mもあるようなイタドリに覆われていました。丸山の東壁を巻いて下る道は、ヤブヤブしていて、足元が見えないし、濡れていて滑り油断できませんで

した。いつも、下り道は長い。やっと黒部川と合流した時は、ダムに近づいたとホッとしました。ダム放流を下から見上げ、ゴーゴーと流れる黒部川を渡るの初めてでした。



黒部ダム駅にやっと着いて、冷たいお水を飲んだり、顔を洗ったり、頑張ったご褒美でした。とても美味しかった。

裏剣の景色は迫力あるし、三ノ窓雪渓、八ツ峰、意外と大変だった池の平山、仙人池の逆さ剣、3つの山小屋ご主人も親切で、思い出深い山行となりました。

7/31 (水) 仙人池ヒュッテ 5:20-ベンチ 6:25-二股吊橋 7:10-展望台分岐 9:50-内蔵助平分岐 11:11-黒部川出合 13:24-黒部ダム駅 15:26

8月の活動報告

8/9 (金) ~11 (日) 夏合宿 剣岳 八ツ峰
参加者:5名

【8月9日】早朝に出発し、扇沢到着5時45分、発券が6時半からでしたが、既に行列が出来ていました。新しくなった電気バスに乗り込み黒部ダムに到着。黒部ダムの大きさに感動！ケーブルカー・ロープウェイと乗り継ぎ立山トンネルトロリーバスで室堂へと到着。9時20分室堂を出発し、雷鳥沢キャンプ場を経て剣御前小舎、剣沢キャンプ場へと到着12時55分。テント場の整地をしっかりと行い設営。14時20分より、三人にて取付き確認

に向かいます。雪渓をズンズンと下って行きました。平蔵谷出合より下がった源次郎尾根の先の辺りまで行き引き返しました。テント場に16時45分到着。さんにより料理の準備が整っていました。豪勢な美味しい鍋を皆で頂きました。激ウマ！明日に備えて早い就寝を取りました。

【8月10日】剣沢キャンプを3時半の出発！

2524mのキャンプ場より1980m付近まで雪渓を下り、長次郎谷の雪渓を一気に登って行きます。辺りも明るくなり始め、八ツ峰の岩壁が見えます。

正に壮観!! □大きな岩壁の数々。熊の岩より5.6のコルを

目指しアイゼンを外しハーネスを装着し取付きまで向かいます。いよいよクライミングの開始です！緊張の中3点支持で登りました。先人達の捨て縄を使用して懸垂下降したりとルートファインディングも非常に難しいコースでした。6峰、7峰、8峰八ツ峰の頭、長次郎のコルを経由して剣岳山頂に漸く登頂！既に時間は17時。山頂にて記念撮影を済まし、下山です。一服剣を経由してテン場に到着したのは21時。急いで夕飯の支度をし食事を取りました！本日の夕飯はアヒージョ！



激ウマ!! □疲労困憊の身体に染み渡りました。片付けを済まし就寝。

【8月11日】最終日。比較的ゆっくりとした朝を迎えた。テントを撤収し、別山、雄山周回。別山ではたまたまお会いしたトレランの練習で来ていた母娘との出会い。その後の越山荘まで、ちょくちょくお会いする事になりました。

雄山から一の越までの大行列で時間を取られ、一の越から室堂までは小走りでの移動となりましたが、無事帰りのケーブルカーに間に合い、帰路となりました。



【夏合宿を終えて】

天気にも恵まれた夏合宿。立山、剣岳は何処を見ても雄大で正に岩の殿堂。

八ツ峰の岩壁に登る事が出来たのは、春先からの物見でのトレーニングの成果だと思います。ご指導ほんとうにありがとうございました。正に体力・技術・気力がなければ厳しい山行であったと感じました。皆さまのお陰で、今、振り

返ってみても未だに信じられない様な場所に立ち、素晴らしい景色を見る事ができました。ほんとにありがとうございました。

8/9 (金) 長野 3:00=扇沢=室堂 9:20=雷鳥沢キャンプ場
 10:07/10:20=劔御前小屋 12:00=劔沢キャンプ場 12:54
 14:24 (下見登) -平蔵谷出合 15:20=劔沢キャンプ場 16:36
 8/10 (土) 劔沢キャンプ場 3:30=長次郎谷出合 4:35-5.
 6のコル 6:25=八ッ峰六峰Aフェース 6:54=六峰Cフェース
 8:58=六峰Dフェースの頭 9:15=七峰-八峰-八ッ峰の頭
 12:05=池ノ谷乗越/右俣 15:19=長次郎の頭 16:01=長次郎
 のコル左俣 16:30=劔岳 17:00/17:30=カニの横バイ
 17:42=前劔 18:43=劔山荘 20:07=劔沢キャンプ場 21:00
 8/11 (日) 劔沢キャンプ場 6:00/8:00 登-別山北峰 9:40=
 大汝山-雄山-室堂 15:00/15:30=扇沢=長野

劔岳 八峰 登攀中の写真

1 8:58 6峰Cフェース



2 9:14 Dフェース頭から



3 9:27 6峰Dフェース



4 10:34



5



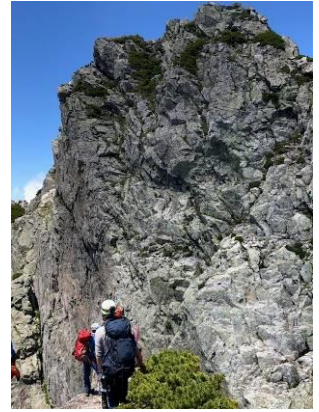
6



7 11:30 7峰を懸垂下降



8 12:04 8峰の頭



9 12:25 懸垂下降



10 15:18 北方稜線(池ノ谷乗越から)



11 15:43



12 15:46



13 17:00 劔岳山頂

